

新救助工作車（II型）の概要

令和8年3月に更新した最新鋭の救助工作車を紹介します。《十和田消防署配備》

この消防車は、救助隊（レスキュー隊）が使用し、多くの人命救助用の道具を積んでいます。緊急消防援助隊として大地震や大雨等の災害が発生したときは、日本各地へ出動する車両となっています。



救助工作車諸元

全	長	：	806cm
全	幅	：	236cm
全	高	：	319cm
車	重	：	11.9トン
乗車定員	：	5名	
駆動方式	：	4輪駆動	



後席は高さ185cmあり、車内で防火服やウエットスーツなどを着ることができるようになっています。また、車両後部は「シェブロン」（斜め縞模様）というデザインにしており、出動した際に救助工作車をはっきりと視認できるようになっています。

シャッターとクレーン装置には、十和田市のシンボルである「馬」と「桜」をデザインしています。

主要な装備の紹介



発電照明装置

3,000W級の照明装置を装備しています。夜の活動時において広範囲を照射し、活動環境を改善します。



クレーン装置

最大吊上能力2.93トンのクレーンを装備しています。重量物の排除や高所・低所の救助活動時に使用します。



電動大型油圧救助器具

最新のバッテリー駆動の油圧救助器具を装備しています。以前のものより高出力かつ軽量のもので、交通事故等で使用します。



ウインチ装置

最大牽引能力5.5トンのウインチ装置を装備しています。動けなくなった車を牽引し引っ張ることができます。



TOWADA RESCUE

十和田

RESCUE
TOWADA FIRE DEPT.

十和田
救助1

十和田
救助1

26-02

RESCUE

十和田消防署

十和田

救助

499

新高規格救急自動車の概要

令和8年2月に更新した最新鋭の救急車を紹介します。《十和田湖消防署 湖畔出張所配備》

この救急車は、最新設備を備えていて室内空間を拡大したり、サスペンション等も特殊なものを使用して搬送される人に優しい走行が可能となっています。また、救助工作車と同じく緊急消防援助隊として大規模災害が起きたときは、日本各地へ出動する車両となっています。



ベース：トヨタ ハイエース
全 長：560 c m
全 幅：191 c m
全 高：249 c m
乗車定員：7名

艤装メーカー：赤尾

十和田消防本部の救急車としては初めて、「バッテンバーグ」と「シェブロン」のデザインを導入し、走行中又は停車中の安全性を高めています。



主要な装備の紹介



機械的胸部圧迫装置

バッテリー駆動で胸骨圧迫（心臓マッサージ）をおこなう資機材です。良質な胸骨圧迫を連続で行うことが可能です。



携帯用吸引器

口の中に異物等がある場合に、吸引するための資機材です。呼吸をしやすくするための資機材です。



気道確保用資機材

呼吸停止した人へチューブを入れることで呼吸ができるようにするものです。また、モニターを見ながらチューブを入れる高度な資機材も導入しています。



静脈可視化装置

救命士が静脈路確保（血管注射）する際に、静脈（血管）を見やすくするための資機材です。